

投資事業評価調書（継続）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 松浦 猛 (太野垣 賢治)	内線	4003 (4016)
------	---------------------	---------------------	----------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間		総事業費	約10億円
		基盤整備促進事業	鮎原吉田地区		内用地補償費	
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度	進捗率 (内用補進捗率)
津名郡五色町鮎原吉田			H6	H6	H18	92%(%)
事業の目的			事業内容			
<p>本事業は五色町の中山間地域における小区画不整形な農地を整備し、機械化営農体系を確立するとともに水稻を中心とした野菜、飼料作物の複合経営を推進し、農業経営の安定と向上を図る。</p>			<p>区画整理 41.3ha [残事業量 1.6ha] 関連事業 2級河川都志川改修工事 県道洲本五色線道路改良工事 県道鮎原一宮線道路改良工事</p> <p>工事費の負担割合 (国：55%、県：20%、町：5%、地元20%)</p>			
進捗状況	<p>本地区は2級河川・県道の改修を一体的に行いながらほ場整備を実施してきた。県道鮎原一宮線に関連する区域を除き平成13年度までにほぼ面工事は完了した。関連する県道用地もすべて取得済みで、今後は、平成16年度に県道工事に合わせて隣接したほ場整備工事を実施し、平成17年度以降は、換地処分に向けた作業を行い、平成18年度には事業完了の予定である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>本地区は、急勾配な地形が多い中山間地域であり水稻、飼料作物、玉ねぎ等を生産しているが、農地は小区画かつ不整形で、用排水路・道路も未整備なため、営農に多大な時間と労力を要している。 今後、県道工事に関連する未施工区域は、換地手法による農地の集団化や道路用地を確保することで県道工事の効率的な実施が見込まれ、ほ場整備工事の一体的な整備が必要である。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>ほ場整備事業の中で、県河川・県道の用地を創設するなど、効率的な整備を行っている。</p> <p>所得償還率：32.9%</p>					
(3)環境適合性	<p>周辺地域で発生する公共残土を受け入れ、有効に活用するとともに、再生砕石等を積極的に利用するなど、環境保全に努めている。 また、整備したほ場で、泥んこバレー大会やコスモス祭りを開催し、地域住民と都市住民との交流等を通じた地域の活性化を積極的に図っている。</p>					
(4)優先性	<p>県道鮎原一宮線の道路用地をほ場整備事業で迅速に確保することで、地域の一体的な整備が図られる。このように地域の生活環境改善にも資する本事業は継続して実施する必要がある。</p>					
再評価の結果	継続妥当	左の理由	上記の理由により継続が妥当である。			